

## 一般質問通告事項一覧表

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
1	古谷 真司	公民館のさらなる利便性の向上にむけて	<p>今年度、文化福祉センターのエレベーター、空調設備、電気設備等に関する計画等の予算が執行されている。先般、エレベーター設置の実施計画が委員会で説明された。また文化福祉センターの維持改修等の計画は、社会教育施設個別施設計画に示されている。</p> <p>そのような状況の中、今年は排煙装置の不具合により、大ホールが半年以上休館を余儀なくされた。躯体の維持と同時に、機能向上のための設備および内装の改修改善が計画的に実行されることが必要と考える。</p> <p>今年度および来年度はエレベーター工事、空調、電気工事が予定されている。そこで以下について伺う。</p> <p>①今回設置予定のエレベーターは車いす対応としているが、車いす対応トイレ、また大ホールの観覧席をどのように考えているか。</p> <p>②空調、電気設備およびエレベーター工事により、公民館の各施設が使用できない期間が発生するか。</p> <p>③公民館施設の将来的改修は、他の教育施設の今後の改修計画と密接に関係していくと考えるが、公民館施設（各会議室、和室、中ホール、ホワイエ、リハーサル室、楽屋、大ホール、図書室）の機能向上に向けた総合的な改修計画を立てる予定はあるか。</p>	教育長	
2	門田 淳	持続的な下水処理に向けて	<p>令和7年1月に埼玉県八潮市で発生した下水道管路の破損に起因する道路陥没事故では、全国的な下水道管の老朽化という問題が浮き彫りとなつたほか、現在でも完全な復旧には至らず、下水道をはじめとするインフラ整備の崩壊が住民の暮らしや生活環境に与える影響の大きさを感じるとともに、下水道施設・設備の健全な機能確保の重要性を再確認しているところです。そこで、次の点について町長にお伺いします。</p> <p>①本町の下水道管の状況について。</p> <p>②下水終末処理場やポンプ場における施設、設備の老朽化対策について。</p> <p>③今後の開発や観光需要の伸びに伴う排水量の増への対応について。</p> <p>④技術職も含めた今後の体制について。</p>	町長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
3	佐藤 英俊	短期就労外国人納税に 関しクレジットカード チャージの可否は	<p>冬期間、短期就労している外国人が納付すべき税額が決定されるのは、既に本町での就労を終えた6月であり、収納がままならないのが実情となっている。</p> <p>現在、地方税共同機構が運営するeLTAXでは、クレジットカード(以下、クレカという)による納税が可能となっている。表示される画面にクレカ情報を入力することで決済される。</p> <p>住民登録を行った就労者のうち納税義務対象者から、「クレカによる納税決済承諾書」にクレカ情報の記入、承諾署名を元にクレカチャージによる収納の可否についての見解を伺う。</p>	町長	
4	佐藤 英俊	(仮称)国際交流協会 の組織化を	<p>南6東2に宿舎建築予定地の農地転用が許可され、工事が始まりました。次年度以降宿舎が完成し、順次居住が始まっています。当該地域の方々はもちろんのこと、私たち全ての住民にとっても、文化、習慣の異なるさまざまな国の方々と新しい「お付き合い」が始まっています。</p> <p>今年10月広報くっちゃん巻末ページに町長便りとして「人を理解するには・・・」(映画『アラバマ物語』より)の見出しで始まり、締め括りの言葉として「人を理解するには、その人の靴を履いて歩いてみることだよ」と結んでいます。</p> <p>映画の主人公フィンチ弁護士の言葉を町長は住民に投げかけ、この町で働く外国人の方々と私たち住民、お互い双方の理解、協調の大切さを伝えていると私は理解しています。</p> <p>本町に海外からの投資が始まった当初、町民の方々は率先してさまざまな交流活動(ツーリストを対象として)を実施してくださいました(着物着付け、書道体験、近郊都市へのツアーなど)。現在は本町で暮らす外国人の方々との交流の場として、総合政策課が主体となって開催している、くっちゃんにほんごサロン「にこちゃん」がその役割を担っていると感じています。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
(4)	(佐藤 英俊)		<p>前頁より</p> <p>先に本町で暮らしている外国人の方々は、短期就労する外国人の良いお手本になり得る存在と思います。そうした意味においても、「(仮称)国際交流協会」としての組織化を検討すべき段階を迎えていると想っています。町長のお考えをお聞かせください。</p> <p>また、「人を理解するには、その人の靴を履いて歩いてみることだよ」この言葉を借りて問うなら、その人の靴を履いて歩いてみるのは、私たち住民が先に靴を履くのか、あるいは新規住民登録する就労外国人の方々なのか、町長の率直なお考えをお聞かせください。</p>		
5	佐藤 英俊	外国人就労者雇用事業所説明会について	<p>住民環境課では冬期間就労目的で住民登録する外国人就労者雇用事業所を対象に2回に分けて説明会を実施したと聞いています。</p> <p>本町で数ヵ月間の生活とはいえ、文化、規則など異なる環境に一日でも早く慣れ、規則を守っていく上で極めて意義のある取組と評価しています。</p> <p>以上の点を踏まえ、町長に伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>説明会の実施日時と事業所への周知方法。</li> <li>説明の内容。</li> <li>説明会参加事業者数と不参加事業者数および不参加理由の把握の有無。</li> <li>説明終了後の質疑の内容。</li> <li>説明会を実施した成果をどのように感じているのか。 (住民登録がスムーズに進むようになったなど)</li> </ol>	町長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
6	佐藤 英俊	第23回 子ども議会一般質問から	<p>さる11月29日、23回を数えるまでに至った「子ども議会」が開催され、小学生から高校生まで8名の議員一人ひとりから一般質問があり、町長、教育長が答弁されています。いずれの質問も各自の目線から感じたこと、改善を希望すること、要望など多岐にわたり、教えられることも多く、背筋の伸びる思いでした。今回の子ども議会一般質問の通告締切日は10月3日と聞いています。その点も含め3点の質問から改めて町長、教育長にお尋ねします。</p> <p>(1) 授業で使用するテレビが古くて、画面が見えづらい。さらには視力低下を心配しています。この質問に対しての教育長は、優先順位があつて直ぐの対応は難しい旨を答弁としています。以下の点を改めて質問します。(教育長)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>質問提出された後、状況調査の実施の有無(テレビの経年劣化、児童への聞き取り)。</li> <li>経年劣化の著しいテレビから早急に交換を予定すべきと考えますが、どのように考えておられますか。</li> <li>児童が視力低下という健康に関わる心配をしていることをどのように捉えていますか。</li> </ol> <p>(2) 町道の補修についての質問がありました。小学校2年生の児童が歩道のひび割れにつまずいて転び、けがをしたことがあると具体的な内容を示しています。改めて次の点を質問します。(町長)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>質問を受け、現場確認の有無。</li> <li>この質問に対しての町長は「優先順位」がある旨を答弁していますが、児童が安心して通学できる環境は、最優先順位で速やかに安全な状態にすべきと考えますが、町長の考えをお聞かせください。</li> </ol> <p>(3) スキー場休憩場所の設置を要望する質問がありました。町長は「スキー場運営会社と相談しているが、大変困難な問題」と答弁しています。町長が答弁している通り、極めて困難な課題と私も思っていますが、</p> <p>次頁へ続く</p>	町長 教育長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
(6)	(佐藤 英俊)		<p>前頁より</p> <p>解決手段はあります。第一駐車場の旧高原ホテル側の法面下部にスーパーハウスを設置し、児童、生徒、保護者が最優先に使える休憩所とすることです。</p> <p>過去、2004年から2005年のシーズン、現在のウェルカムセンターを東急不動産が町から譲り受けて改修する前年、総合案内所、男女別更衣室、宅配便取扱いを目的として、大型スーパーhaus 3棟を設置しています。</p> <p>第一駐車場は既に国定公園の範囲から外れています。町のみの判断で設置可能な状況になっています。</p> <p>質問した子ども議員は、「いつも外で(弁当を)食べています」、さらには友達は「値段が高いから、一つのカツカレーを二人で分けて食べている」と伝えています。</p> <p>スキーの町を宣言し、国際スノーリゾートを目指すと公言している我が町の未来を担う子どもたちの昼食を、せめて屋根のある休憩所で食べられるようにしませんか、町長の考えをお聞かせください。</p>		
7	笠原 啓仁	『居住サポート住宅』制度の有効活用を	<p>昨年6月、「住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律(住宅セーフティネット法)」が改正され、今年10月1日に施行されました。これにより、「住宅確保要配慮者」とされる高齢者や障害者、低所得者などを対象とした「居住サポート住宅」認定制度が始まりました。</p> <p>他地域に比べ地価や家賃の高騰などで住宅の確保が特に厳しい本町にとって、新制度の有効活用による課題解消が期待されます。</p> <p>そこで、以下について伺います。</p> <p>1. 制度の概要について  「住宅確保要配慮者」へのさまざまな支援策が新制度には盛り込まれています。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

## 令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
(7)	(笠原 啓仁)		<p>前頁より</p> <p>ます。制度の円滑な運用により、要配慮者の住宅確保の促進が期待できます。制度の概要についてご説明ください。</p> <p>2. 本町の役割・取組について</p> <p>新たな制度では市区町村での「居住支援協議会」の設置（努力義務）を促進し、「地域における総合的・包括的な居住支援体制の整備を推進する」としています。地域での制度の浸透や円滑な運用において自治体の果たすべき役割は大きいと思います。本町の役割や取組についてご説明ください。</p>		
8	笠原 啓仁	『旧東陵中の跡利用計画』 「白紙」の経緯と今後の方針は	<p>「(事業者からの) 貸付申請の申出の時期につきましては、現在基本計画、それからワークショップ等を行いまして、時期的には11月前後の予定ということで、今のところ、スケジュール的にはそのようになっております」。</p> <p>これは、旧東陵中学校の跡利用計画についての総合政策課長の答弁です。前回の9月定例議会のことです。</p> <p>「計画は順調に進んでいる。念願の温浴施設の建設も近い」。町長や担当課長の答弁を聞いた誰もがそう思ったのではないでしょうか。</p> <p>しかしこの議会答弁の直後、「跡利用計画」は「白紙」となりました。温浴施設の建設を含む今回の跡利用計画には町民も大きな期待を寄せていたと思います。</p> <p>計画が「白紙」になった経緯と同校の跡利用を巡る今後の方針についてご説明ください。</p>	町長	
9	笠原 啓仁	『景観計画』 効果は現れていますか	<p>景観計画に関し、町民からつぎのような「質問」が私に寄せられました（原文は資料参照）。</p> <p>計画策定から3年が経ちます。「町民質問」にあるように、計画で取り上げられている指摘や懸念事項は解決されているのでしょうか。計画策定による効果、計画の具現化に向けた今後の取組についてお聞かせください。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
(9)	(笠原 啓仁)		<p>前頁より</p> <p>(以下、町民からの質問)</p> <p>俱知安町景観計画が令和5年に策定されております。今後の課題等が整理され、あるいは〇〇〇していくと記載されておりますが、現在にいたるまでにどの様に議論、検討されてきたのか、解決されてきたのか疑問です。質問して頂けますようお願いします。</p> <p>俱知安景観計画（令和5年策定）にある、3点について。</p> <p>①（計画P 2中段）</p> <p>これらの動向から、リゾートエリアのさらなる発展や、新幹線及び高規格道路による市街地活性化に大きな期待が寄せられる一方、恵まれた自然環境の喪失、公共インフラへの負荷、留まるところを知らない開発動向、顔も分からぬ土地所有者、短期間で入れ替わる居住者など、先の見えない不安感が募っていることも否めません。</p> <p>②（計画P 3 8下段）</p> <p>その他市街地でも、アパートの新築増、空き家を用いたシェアハウスの増加が見られ、町の新たな発展と活性化に期待が高まる一方、これまでの街なみや暮らしの変化への不安、ひいては町の未来に対する漠然とした不安が拡がっています。流動人口を受け入れる新築アパートや町外・国外の土地所有者の増加により、町内会などのコミュニティ機能の希薄化が懸念されます。</p> <p>③（計画P 4 8中段）</p> <p>リゾートエリアから近隣への開発の滲み出しと森林地域での大規模な宿泊施設の林立が懸念されます。</p> <p>①、②、③について、その後対策は考えられていますか？「懸念されます」と書かれていますが？</p>		

## 令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
10	笠原 啓仁	『学校の空き教室』 「ミニ図書館」として 活用を	<p>学校の空き教室の利活用について、町民から以下のような「提案」がありました（原文は資料参照）。</p> <p>学校図書室を充実させるという意味で、この町民提案はいいアイディアだと思います。教育長の見解をお聞かせください。</p> <p>（以下、町民提案）</p> <p>少子化の影響か学校に空き教室が目立つようになりました。この空き教室を近いミニ図書館なるものを作れないかと思っております。</p> <p>就活等で本・絵本の整理に困っているという声を多く聞きます。当町には図書室、まもなくできる絵本館もありますが、蔵書できるスペースも限られています。町民の蔵書の中には貴重な本・絵本もあります。後志管内からは書店が消えて行っています。（昨今岩内の小林書店も閉店）</p> <p>このような状況でもし管理運営できる団体ができましたら、空き教室を使いミニ図書館が可能かどうかをお聞きします。</p>	教育長	
11	笠原 啓仁	『懸案の町政課題』 どうなっていますか	<p>以下の事項は過去に私が一般質問で取り上げたものです（カッコ内は質問した議会）。懸案となっているこれらの町政課題を巡る状況はどうなっているのでしょうか。</p> <p>1. 公設市場の今後のあり方について（令和7年3月議会） 「令和7年度中に今後の方向性を示していきたい」と町長は答えていました。期限まであと3カ月あまりです。方向性は固まりつつあるのでしょうか（町長）。</p> <p>2. 福祉ハイヤーチケットについて（令和7年3月議会） チケットの配布方法について町長は「使用期限自体を撤廃することを検討している」と明言しました。新年度からは間違いなく新方式での配布が開始されるのでしょうか。（町長）</p> <p>次頁へ続く</p>	町長 教育長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
(11)	(笠原 啓仁)		<p>前頁より</p> <p>3. 学校司書の配置について（令和6年3月、令和7年6月議会）          今年の6月議会で教育長は「学校司書の有意性について十分認識してございますので、配置に向けて検討してまいりたい」と答えています。          司書の配置には予算措置が必要です。今月から新年度予算の編成作業が始まります。新年度からの配置に向け準備を進めているのでしょうか（教育長）。</p>		
12	木村 聖子	クマ緊急銃猟と鳥獣被害対策における担い手確保について	<p>全国的にクマの出没が相次ぎ、人的被害の報告も見られます。本町でもエゾシカやアライグマによる農作物被害が深刻です。特に北部・東部地域ではクマの出没が増えており、農作物被害の防止はもとより人的被害を防止するために、俱知安町鳥獣被害防止計画にあるように猟友会や関係機関との連携をさらに深めるとともに、担い手の確保・育成を支えていくことが大切だと考えます。</p> <p>①危険鳥獣の出没状況について          本町における危険鳥獣、特にクマの出没は近年増えているように感じますが、実際の状況はいかがでしょうか。          また、出没する範囲や傾向に、例年と比べて変化がありますか。</p> <p>②若手ハンターの育成・担い手確保について          本町では猟銃免許取得への補助制度がありますが、さらなる活動を支援するために弾薬費用補助やハンター保険加入促進などについて、検討されたことはあるでしょうか。</p> <p>③緊急銃猟対応と「ガバメントハンター」について          本町における危険鳥獣への緊急銃猟対応は、どのような方針で行われるのでしょうか。また、行政職員が狩猟免許を取得し、現場対応にあたる「ガバメントハンター」の導入の可能性はあるでしょうか。</p>	町長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
13	木村 聖子	下水終末処理場の臭気対策について	<p>下水終末処理場につきましては、近隣にお住まいの方や周辺道路を通行される方、商業施設をご利用の方から、臭気に関するご意見をいただいております。車内や室内にいても不快に感じる場合があるなど、日常生活に影響が及んでいるとの声も伺っております。</p> <p>また、俱知安町は豊かな自然や景観を活かした観光地として世界中から多くの方が訪れる町であり、国際リゾート地としての印象を損なうことは、町のブランド価値にも関わる重要な課題と考えております。そこで、町としての現状認識と今後の対応について町長に伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臭気の発生状況について、定期的な調査や測定は行われていますでしょうか。その結果はどのような形で住民が知ることができるでしょうか。</li> <li>2. 臭気の原因や、軽減に向けた設備改善・新たな取組について、町としての検討状況を伺います。</li> <li>3. 特に冬季は短期就労者や観光客の来訪により、定住人口を大きく上回る交流人口・関係人口となります。本町の下水処理場の処理能力は現状で十分とお考えでしょうか。</li> </ol>	町長	
14	木村 俊一	駅周辺と温泉施設について	<p>町は旧東陵中校舎を民間事業者に貸し付け、温泉施設を中心とした交流施設として整備するとして11月に契約予定でしたが、具体的な設計に入つて構造上温泉施設の転用は適さないことが分かったとしています。しかしながら総務常任委員会でも質問したところ、事業者がどこなのか、内容がどうなっているのか詳細な説明がないまま10月には仮契約、11月には本契約という運びになつていて説明を受けていました。町長部局へ早くからの事業者からの打診があり、どの時点で設計上の温泉への転用が適さないと判断するに至ったのか時系列を説明してください。</p> <p>私は何度も議会で町長へは、温泉施設誘致について町として具体的な誘致策</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
(14)	(木村 俊一)		<p>前頁より</p> <p>をあげて公募すべきではと言ってきましたが、今後もしていくつもりはあるのですか。またどのような誘致策を考えているのかお聞かせください。</p> <p>まちづくり新幹線課で立地適正化計画を大変よくまとめられていて、駅前を賑わいゾーンと捉えています。現時点では賑わいゾーンとして駅周辺開発がその後進んでいないようですが、駅周辺に温泉施設を持った宿泊施設ができるということもあるようです。そこには何か働きかけることはあるのでしょうか。町民も利用できるよう交渉していくお考えはあるのでしょうか。</p> <p>それと同時にスキー場並び市街地に出店したい企業もたくさんあると考えられます。駅周辺の温泉だけでなくゾーンという考え方で再開発をしていくことが必要です。単に四角な街ではなく、その中に小さな公園があり、その周りに路面店があり、その上にはマンションや会社が存在しても良いのでは。</p> <p>新幹線駅開通が遅れていますが、開通までに俱知安町の再開発をデベロッパーと一緒にプランニングが必要です。以前町長は、デベロッパーとの開発は考えていないと言っていましたが、今でも変わらないお考えですか？</p>		
15	坂井 美穂	物価高騰から町民生活を守る施策について	<p>長引く物価高騰は、町民生活に深刻な影響を及ぼし、子育て世帯や年金生活者、中間所得層などの家計に強い負担が強いられている。これに対し、自治体が地域のニーズに応じたきめ細かい物価高対策を後押しする「重点支援地方交付金」が拡充され、「推奨事業メニュー」が示されたところであるが、同交付金を有効活用し、家計への負担軽減を一刻も早く実現する必要があり、即効性ある物価高対策の強化が急務である。以下を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年金生活者、子育て世帯のみならず中間所得層などへ広く支援を講ずることが重要であるが、どのようにお考えか。</li> <li>2. 生活に大きな影響を与えていた食費への支援対策はどのようにお考えか。</li> <li>3. 中小企業・小規模事業者への実効性ある支援について。</li> <li>4. 支援策が迅速かつ確実に実施される体制の確立について。</li> </ol>	町長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
16	坂井 美穂	地域に根差した支援体制-市民後見制度の活用促進について	<p>認知症の高齢者の推計人数は600万人を超え、軽度認知障害の高齢者は約400万人と推定されている。さらに、判断能力が不十分なものには、認知高齢者に加え精神障害者が約110万人おり、これらを合わせると、全国でおよそ1200万人に上ると推計される。</p> <p>近年の高齢化の進展に伴い、認知症高齢者の増加は社会課題となっており、これに伴って成年後見制度の需要も一層高まるとも見込まれる。成年後見制度は、本人の生活や人権、財産を保護するため、契約や行政手続き等において支援を行う重要な仕組みであり、その利用拡大は地域包括ケアの推進に不可欠である。特に、市民が後見人として活動する「市民後見制度」は、判断能力が不十分な人を支える地域に根差した支援体制であり、その活用促進が求められる。</p> <p>以下を問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本町における成年後見制度の直近数年間の利用者数と、今後の見通しについて。</li> <li>2. 成年後見制度にどのような課題を認識し、検討しているか。</li> <li>3. 市民後見制度に対する検討と課題。</li> </ol>	町長	
17	坂井 美穂	地域の安心安全-防犯カメラ設置の助成について	<p>闇バイトや特殊詐欺、強盗事件が全国的に発生しており、不安な思いをされている町民もたくさんおられると思う。特に昨今は独居の高齢者も増えており、その対策が急務である。また、当町が国際リゾートとして発展していく一方、町民は変わりゆく町での防犯面での不安の声が増している。</p> <p>防犯対策としては、防犯カメラの設置が犯罪の抑止および不審者への牽制となることから、地域の安心安全を向上させるうえで非常に重要であると言われている。</p> <p>さらなる町民の防犯意識の向上を図り、安心安全な地域社会の実現に向けて以下を問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 防犯カメラの設置状況と問題点。</li> <li>2. 町民の不安意識をどのように感じとられているか。</li> <li>3. 町内会、自治会、個人に対する防犯カメラ設置の有効性と助成について。</li> </ol>	町長	

## 令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
18	小川 不朽	駅前通りの除雪体制と街並みづくり安全で快適な歩行空間の構築を	<p>駅前通り（道道 271 号俱知安停車場線）の除雪の体制については、昭和 53 年に流雪溝が整備され、車道部の除雪を道路管理者である北海道が行い、流雪溝の維持管理を俱知安町が行ってきた。また、間口堆雪の処理を住民が行っており、さらに平成 7 年からは地先の方々が費用負担し町が一部助成を行うことで、ロードヒーティングが整備された。</p> <p>昨年度、除雪体制の新たな取組ととらえる駅前通りの歩道ロードヒーティングに関する提案があり、第 3 回定例議会の補正予算にて駅前通り歩道ロードヒーティング実施設計業務委託料の提案がなされ議決したところである。</p> <p>本事業および関連する無電柱化事業、さらには街並みづくりの進捗状況について伺う。</p>	町長	
19	小川 不朽	町民に愛される旭ヶ丘総合公園の再構築を旭ヶ丘総合公園のあり方検討会の検討状況は	<p>旭ヶ丘総合公園は 1982 年に基本構想が策定され、それを基に現在の公園として活用されてきている。</p> <p>時代の変化とともに町民からのニーズ変化や環境の変化により、基本構想の見直しが必要として 2022 年 7 月、府内に『旭ヶ丘総合公園のあり方検討会』が設置された。</p> <p>すでに 3 年が経過しているが、本検討会の検討状況について伺う。</p>	町長	
20	小川 不朽	「くっちゃん子条例」の制定について	<p>「くっちゃん子をみんなで育てる条例（くっちゃん子条例）」の策定にあたり、令和 4 年 1 月に条例案を公表し、パブリックコメントを実施した。現在もなお制定に向けて検討が進められていると推察する。</p> <p>「くっちゃん子条例」の制定は文字町長が 1 期目就任にあたり掲げた公約の一つである。</p> <p>「くっちゃん子条例」の策定状況について伺うとともに、町長任期中の制定実現の可能性について伺う。</p>	町長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
21	原田 芳男	防災計画について再度質問します	<p>泊原子力発電所の再稼働に関して町に対して質問が北海道からあり、それへの回答をしたと聞いています。</p> <p>防災計画が真に実効性があるものかが問われている状況にある。現在北海道への回答と道の質問はどのようなものなのかも含め答弁を求めるものです。</p> <p>1. U P Z (緊急防護措置圏内) 内の一時避難で俱知安町は室蘭市、登別市、苫小牧市、伊達市、千歳市の5市に合計15,474人が分散して避難すると計画されていますが、冬の観光シーズンは宿泊、日帰りの人たちの避難がプラスされますが、その対応はどのようになるのでしょうか。また分散して避難する方たちへの連絡など、避難先との調整のための職員の派遣はどのように計画されているのでしょうか。</p> <p>2. 原発で事故があった時、自宅待機とされていますが食料などの供給はどうなるのでしょうか。</p> <p>3. 事故時、水源が汚染された場合の対応は。</p> <p>4. 複合災害の場合、道路網が寸断されることが能登の災害で明らかになりましたが、どのように対応するのか。</p>	町長	
22	原田 芳男	町財産の管理について	<p>俱知安町の財産は土地、建物のほかに各種基金など大きな資産として町民のために利用されています。</p> <p>この運用管理に関わっては統一された基準で運用されるべきと考えます。</p> <p>1. 運用基準を示してください。(町長)</p> <p>2. 新プールについての運営はどのようにするのか、現時点での方針をお聞かせください。(教育長)</p> <p>3. 町営住宅の管理に関わって居住者が公平と感じる運営が大事です。 町は管理に関わって(除雪を含む)居住者まかせにせず、指針を示すなど安心して暮らせる措置を講じるべきでは。(町長)</p>	町長 教育長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
23	原田 芳男	小学校、中学校におけるスポーツ振興について	<p>俱知安町はスキーの町を宣言し、冬のスポーツの進行に力を尽くすとともに格闘技、球技、陸上などにも力を尽くし、小中学生の活動に援助をしているところです。</p> <p>しかしそれらの活動が学校の課外活動中心からスポーツ少年団などにも幅が広がったことによって、支援の在り方が問われる状況となっています。</p> <p>1. 大会派遣時のバスにかかる経費などの支援はどのような基準で行っているのか。(教育長)</p> <p>2. 指導体制の現状は。(教育長)</p> <p>3. さまざまな用途としても利用できる町所有のバスが必要では。(町長、教育長)</p>	町長 教育長	
24	唐澤 隆博	令和7年度教育行政執行方針より	<p>1 豊かな人生を切り開き、生きる力を育む教育の推進より</p> <p>①「俱知安プラン」に基づいた教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導や、保護者との連携・信頼性の構築などにかかる教職員の研修の実施状況について</li> <li>・学校運営協議会の活用による地域との連携・協働の具体例について</li> </ul> <p>②英語教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導体制が変わったことによる授業内容の変化と指導者の構成について</li> <li>・探究的なふるさと学習「じやが・スタディ科」の具体的取組内容について</li> <li>・現在ケンブリッジ英検を実施していないが、次年度の英語検定の実施についての考えは</li> <li>・令和8年度の英語教育の予定について（小学校1～2年生の英語学習、テキストの研究など）</li> </ul> <p>2 教育環境の整備より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・I C T環境整備について、学習用端末に加えて個人のスマートフォンについてのモラル指導はどうなっているか</li> </ul> <p>3 生涯学習の推進より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書環境の整備・充実にはプール絵本館複合施設に図書館司書を置くべきと考える</li> </ul> <p>以上について教育長に伺う。</p>	教育長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
25	唐澤 隆博	跨線橋撤去後の対応について	<p>跨線橋撤去後の対応について9月定例議会盛多議員の一般質問において町長の答弁では仮踏切の設置を知事主催の北海道新幹線札幌延伸推進会議、その他の会議で強く要望したと聞いている。地域住民や現場確認などで状況を把握した。</p> <p>①跨線橋の完全撤去の予定について。</p> <p>②旭ヶ丘スキー場利用者増など冬期間の交通状況が心配される。対策について。</p> <p>③仮踏切設置時期と仕様はどのようなものなのか。</p> <p>町長に伺う。</p>	町長	
26	早川 貴士	俱知安町建物等に関する指導要綱における宿泊施設等の駐車台数算定方法の見直しについて	<p>昨年の一般質問において町長は、令和4年度以降に実施したリゾートエリアの実態調査や宿泊事業者への聞き取り調査の結果を踏まえ、地域の皆さんとデータを共有しながら、必要に応じて追加調査を行い、実態に即した駐車台数基準を検討するとの答弁があった。</p> <p>また、現在の要綱では対象外となっている従業員用駐車場、搬出入車両・荷捌きスペースなどについても、基準に含める方向で検討するとの考えを示されたものと理解している。</p> <p>その上で、これらの駐車台数基準について、単なる指導要綱ではなく、より強制力を持たせるために条例への明文化が必要でないかと考えている。</p> <p>よって以下の3点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.昨年度以降、駐車台数基準の見直しに向けて、どのような検討作業が進められているのか。進捗状況を伺う。</li> <li>2.従業員用駐車場や荷捌き車両スペースなど、前回町長が検討すると述べられた部分について、現在どの程度まで進んでいるのか。</li> <li>3.基準の条文化について、町として必要性を認識しているのか。</li> </ol>	町長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
27	早川 貴士	南6条東2丁目の開発について	<p>南6条東2丁目寄宿舎開発に関しては、これまで委員会資料において協定案の概要が示され、町内会との協議経過も報告されている。</p> <p>しかし、11月28日の北海道新聞にて、町が町内会立ち合いの元、事業者と協定を締結したと報道があったが、協定の最終的な締結内容や、その運用方法、住民への説明の方法や、町としてどのように責任を果たすのかについては、なお不明確な点が多いと感じている。</p> <p>特に、責任分担や実施主体、町の関与範囲が多岐にわたっており、このため、町としてどの部分を主体的に行い、事業者は何を行うのか、そしてどのようにして実効性を確保するか改めて確認したい。</p> <p>よって以下について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>協定の正式な締結内容、目的、事業者・町・町内会の各主体の責任分担はどう整理されているのか。また、今後の運用において町はどの部分まで関与し、どのように履行状況を確認するのか。</li> <li>協定が住民の生活環境・安全確保にどのような効果を持つと見込んでいるのか。短期・中期の町への影響をどう評価をしているのか。</li> <li>夏季の寄宿舎の活用については工事関係者の利用が想定されているが、長期滞在者への住民登録促進が交付税確保に寄与するのではと考える。本町として、将来の定住促進への活用についてどのような考え方を持っているか。</li> </ol>	町長	
28	早川 貴士	再生可能エネルギー発電設備に関する条例制定の進捗について	<p>全国では再生可能エネルギー発電設備の設置をめぐり、特にソーラーパネルについては、釧路市の問題を筆頭に、さまざまな問題が顕在化している。俱知安町においても、将来的に同様の問題が生じることが想定され、昨年の定例会にてルール、条例制定の必要性について問題提起をさせていただいた。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
(28)	(早川 貴士)		<p>前頁より</p> <p>町長からは、「ゼロカーボン戦略の策定を令和6年度に調査、令和7年度に本格策定する。その中で条例制定も含めて準備を進め、来年度中の制定を目指す」との答弁があった。</p> <p>よって、以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>現在進めている「ゼロカーボン戦略」の事前調査の進捗状況について、具体的にどの段階まで到達しているのか伺う。</li> <li>条例制定に向け、他自治体の条例事例や国のガイドライン等の調査・整理はどの程度まで進んでいるのか。</li> <li>来年度中の条例制定を目指すとの答弁であったが、現時点においてそのスケジュールに変更はないのか。仮に遅延が見込まれる場合には、その理由と対応策を伺う。</li> <li>条例制定に当たり、行政指導が十分に機能しない事例が生じていることを踏まえ、実効性を確保するためにどのような手法や仕組みを検討しているのか。また、国や北海道との連携や情報共有はどの程度進んでいるのか伺う。</li> </ol>		
29	早川 貴士	新たな法定外税の導入について	<p>令和5年6月定例会において、私から新たな法定外税について質問を行い、町長からは「令和6年度には条例提案したい」との答弁があった。</p> <p>しかしその後、制度設計が複雑化したことや、北海道との宿泊税協議、国勢調査への対応等により、検討が十分に進まなかつた経緯があると理解している。</p> <p>一方で、道内では別荘やコンドミニアムを対象とした法定外税の導入例はなく、全国では熱海市が別荘等所有税を導入し、非居住者による不動産所有に伴うインフラ・消防等の負担に対応している唯一の先行事例とされている。</p> <p>また、本町においても、前期の総務常任委員会での視察時に「俱知安でも導</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
(29)	(早川 貴士)		<p>前頁より 入の可能性がある」と示唆されていた経緯がある。</p> <p>町外不動産所有者によるコンドミニアム等の開発が増加する中、観光負荷・交通負荷・消防力への負担は増しており、まずは制度を過度に複雑化せず、導入可能な範囲からコンドミニアム税（仮称）として着手すべきと考える。</p> <p>よって以下について伺う。</p> <p>来年度、この法定外税の条例提案を行う考えがあるのか。それとも次の任期での検討とするのか、現時点での町長の判断を伺う。</p>		
30	早川 貴士	町長の情報発信力について	<p>町長は日頃から精力的に要望活動や関係機関との折衝を重ね、さまざまな活動を行っていることは承知している。しかしながら、その内容が町民に十分に伝わっていない現状を、私自身、強い問題意識として持っている。</p> <p>そこで以下について見解を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 町長ご自身によるSNS等を活用した情報発信について、現状の認識と今後の方向性についてどのように考えているか。</li> <li>2. デジタル広報が我が町にもあるが閲覧数は。</li> <li>3. 町長の要望活動や外部折衝について、町民に分かりやすく伝える仕組みを整備する考えはあるか。</li> <li>4. 先日の翼地区の違法開発事業者に対する刑事告発については、町長が記者会見により方針を示した。私はこれまで、重大事案については町として速やかに記者会見を行い、遺憾の意を内外に明確に示す必要があると指摘してきたところである。今後も大きな問題が発生した際、記者会見は必要との認識があるか伺う。</li> </ol>	町長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
31	波方 真如	第23回子ども議会の意見を踏まえた教育環境整備について	<p>先日開催された第23回子ども議会では、児童・生徒から学校教育に関する率直な意見が寄せられました。町としても、将来を担う子どもたちの声をどのように教育施策へ反映するかが重要です。</p> <p>そこで以下の点について伺います。</p> <p>【1. 学校に設置されているテレビ（学習用モニター）について】*小学生からの質問より</p> <p>1) このテレビは、授業においてどのような目的で使われ、どのような教育的効果を期待しているのか。（教育長）</p> <p>2) 視認性の悪さ、画面サイズ不足、角度や設置位置など、現場で指摘されている課題について、教育委員会として現状をどの程度把握しているのか。（教育長）</p> <p>3) 町内各小中学校に配置されているテレビは、それぞれいつ導入されたものか。また、耐用年数や更新周期について、教育委員会としてどのような基準や考え方を持っているのか。（教育長）</p> <p>4) 倶知安町が俱知安高校に求める生徒像は何か、との問い合わせがあり町長が答弁した「生徒像」を実現するには、I C T機器も含めた早い時期からの教育環境整備が不可欠であり「教育への投資」が必要だと考えるが、見解を伺いたい。（町長）</p> <p>【2. 給食費の無償化について】小学生からの質問より</p> <p>1) 国において小学校の給食費無償化が検討されているが、仮に国が小学校のみを対象とした場合、町独自の施策として中学校の給食費を無償化する考えはあるか。（町長）</p>	教育長 町長	
32	波方 真如	俱知安町公衆無線 LAN（Wi-Fi サービス）の提供について	<p>俱知安町の公衆無線 LAN（Wi-Fi）は、町民のみならず観光客やビジネス利用者にとっても重要な情報基盤となっています。しかし、「通信が弱い」「切れやすい」「つながらない」といった声が町内各所で聞かれており、利便性の向上が求められている現状にあります。</p> <p>そこで以下の点について伺います。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
(32)	(波方 真如)		<p>前頁より</p> <p>1. 現状の通信品質（スピード・接続率）の分析を行っているか。</p> <p>2. 「弱い・切れる」という利用者の声を町はどの程度把握しているか。</p> <p>3. 町として通信事業者との連携強化、回線増強の検討はあるか。</p> <p>4. 観光地・国際リゾート地として、安定したWi-Fi環境は不可欠であると考えます。 町として、情報環境整備をどのように位置づけているのか、また今後の改善計画・方針があれば伺います。</p>		
33	波方 真如	旧東陵中学校の今後について	<p>旧東陵中学校については、これまで温浴施設としての活用計画が示されていましたが、建物の基礎が建物重量に耐えられないことが判明したため、計画は白紙撤回となりました。</p> <p>この経緯を踏まえ、以下の点について伺います。</p> <p>1. 旧東陵中学校の活用可能性について 温浴施設整備計画が事実上断念された現状において、旧東陵中学校を今後どのように活用していく方針か。他用途での活用が可能なのか、また町として検討を進める意思があるのか伺います。</p> <p>2. 建物の基礎が建物の重さに耐えられないという重大な構造的課題は、本来であれば計画初期の段階で判明しているべき事項ではないかと考えます。なぜこの問題が計画の後半になって判明したのか。</p> <p>3. 仮に旧東陵中学校を解体する場合の費用および活用可能な国の制度について ・解体を選択せざるを得ない場合、解体費用がどの程度見込まれるのか伺います。 ・近年、文部科学省・総務省では、廃校施設の解体に関する補助制度・公共</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
(33)	(波方 真如)		<p>前頁より</p> <p>施設の再編に係る地方財政措置・老朽危険施設の解体に対する交付税措置など、一定の条件下で自治体が負担を軽減できる仕組みがありますが、活用可能な国の補助金・交付税措置・優遇制度の有無について、町として現時点でどのように把握しているか伺います。</p>		
34	波方 真如	巽地区の現状と無秩序開発への対応	<p>巽地区において、森林法・都市計画法に抵触する複数の無届け（違法）開発が発生し、町民の不安が広がっている。町は再発防止と健全な土地利用の両立に向け、早急に実効性ある対応が求められているが、今後の方向性が十分に示されていない。</p> <p>そこで、以下の点について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 準都市計画区域の見直しと指定拡大について 巽地区を含む4地区（豊岡・富士見・高嶺・巽）の追加指定を求める方針について、町はいつまでに 北海道都市計画審議会へ正式申請を行う予定か。 北海道との協議状況はどの程度進んでいるのか。</li> <li>2. 違法開発行為の実態把握と町としての検証・総括について 複数の違反行為が判明したが、町として原因の分析（なぜ未然防止できなかつたのか）をどのように行っているのか。 今後、同様のケースが起きたときに、町として早期に把握し、道や関係機関へ即時共有できる体制は整っているのか伺う</li> <li>3. 近隣町村との広域連携について 8月29日の後志地域づくり連携会議羊蹄山麓ブロック会議で、俱知安町長が条例強化を主張したと聞くが、周辺4町村との問題意識の温度差・足並みの状況をどのように認識しているか。</li> <li>4. 自然環境保全（水源地保護）とリゾート地としての将来像について 羊蹄山は水源地として極めて重要であり、不適切な開発の影響は広域に及ぶ。 町は環境保全と観光振興を両立させる将来ビジョンをどのように描いているのか。</li> </ol>	町長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
35	森 祐樹	旭ヶ丘スキー場の運営について	<p>2025-2026シーズンの旭ヶ丘スキー場の運営について、教育長に伺う。</p> <p>(1) 運営全体について（営業時間、定休日、ナイターディー、使用料金など）の変更点はないようだが、どのような議論がなされてこのようになっているのか。</p> <p>(2) 町民優遇措置を求める声も多いと感じているが、昨年までと同様に町民無料開放日と町内在住の中学生以下利用料無料以外に、町民優遇措置は検討していないのか。</p> <p>(3) 昨シーズンは多くの問題点があったがそれらについての対応、対策は。 (団体利用によるゲレンデ内の混雑、雪ん子館の混雑、早い時間での駐車場の満車、道路の渋滞、レッスンなどの営業利用など)</p>	教育長	
36	森 祐樹	令和8年度以降のまちづくりについて	<p>北海道新幹線札幌延伸が2038年度以降になる見通しが発表され、当初の2030年度末開業予定から大幅に遅れることになりました。それに伴い北海道新幹線俱知安駅（新駅）の開業についても大幅に遅れることとなります。</p> <p>本町では新幹線駅、高規格道路の開業を見据えてまちづくりの議論、計画を進めてきました。特に新幹線駅の開業に合わせて、駅周辺整備、中心市街地活性化については、かなり細かな部分まで話が進められています。しかし、新幹線駅の開業が10年以上先延ばしとなった今、まちづくりの考え方や駅周辺整備計画については見直しの必要があるのではないか。町長の見解を伺う。</p>	町長	
37	森 祐樹	農地整備、農業インフラの維持管理について	<p>近年、農家1戸当たりの経営面積が大きくなり、作業量が増えていることなどから、大型機械や自動操舵の導入により作業の効率化、省力化が図られています。さらなる効率化を図るために農地整備が有効な手段であり、農業者か</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

令和7年 第4回 倶知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
(37)	(森 祯樹)		<p>前頁より</p> <p>らの需要も高まっています。しかし、農地整備には多大な事業費がかかります。近隣町村では、自治体が主導して長期にわたる国営の農地整備事業を行っています。本町においても、町が主体となった農地整備事業を行う必要があります。</p> <p>また、農業にとって重要なインフラの一つである農業用水路の日常的な維持管理（草刈り、掃除、土砂上げなど）については農業者と俱知安土地改良区、地域住民が協力して行っていますが、農業者の減少により個々の農家の負担は大きくなっています。さらに、近年多発している豪雨などの影響により施設の損壊や管理道路法面の崩落なども起きています。これらの修繕には多額の費用がかかり農業者の大きな負担となっています。</p> <p>農業は本町の基幹産業であることから、農業インフラの整備、特に災害における復旧事業などには積極的な予算措置が必要ではないでしょうか。町長の見解を伺う。</p>		